



2017 FALL/WINTER vol.9

【表紙の人】

春日部在住のカメラ女子で、「かすかべ+1サポーター」としても活動していただいている島田優希さん。4月上旬の気持ちのいい朝、牛島古川公園のそばで撮影しました。

# 春日部の水辺の魅力 肌で感じて みませんか？

## CONTENTS

- 巻頭エッセイ.....02
- 1 水辺には“キレイ”がいっぱい!.....04  
～カメラ女子と古利根川を歩く～
- 2 ようこそ、「水辺の森」へ。.....08
- 3 古隅田川ミステリー.....10
- 4 私たちが水辺を守ります!.....12
- 5 かすかべ「川・水辺」マップ.....14

みんなて

### シティセールスシンボルマークを使おう!



プラスワン「+1」とはこのまちに住む一人ひとりが大切に想う「春日部の好きなおところ(魅力)」のこと。マークを使ってみんなで魅力を共有しよう。詳しくは市公式HPへ。



この情報誌には、写真が動くAR動画を掲載しています。

シティセールスシンボルマークのアイコンのある写真でAR(エーアール)動画を楽しめます。スマートフォンやカメラ付きタブレットでAR動画を再生するには、無料アプリ「Aurasma」(オーラズマ)をインストールしてください。詳しくは市公式HPへ。



1967年、熊本県八代市生まれ。1991年日本気象協会に入職後、NHKテレビの気象キャスターとなり「おはよう日本」、「ニュースウオッチ9」などの気象情報を担当。現在は株式会社ウイング常務取締役として、講演活動や後進の指導にも力を注いでいる。また、2013年にかすかべ親善大使に就任。中学・高校時代の陸上競技経験を活かし、ゲストランナーとして「春日部大風マラソン大会」にも毎年出場している。

## 巻頭エッセイ

ひらい のぶゆき

# 平井 信行

(かすかべ親善大使・気象予報士)



マラソンが趣味の私にとって、川辺はトレーニングの場所であり、同時に、交流の場でもあります。

気象キャスターという職業に憧れを抱くようになったのは小学校高学年の頃。私が生まれ育った熊本県八代市は、梅雨期の降水量が非常に多い地域で、近くを流れる球磨川がたびたび氾濫を起こしていました。もともと自然や科学が好きで、テレビの気象情報にも関心があった私は、「将来は天気を取り分けて伝える気象予報士になつて、人々の役に立ちたい」と考えるようになったのです。

高校卒業後は、教育学部の中に気象学ゼミがある東京学芸大学に進学しました。当時の私は気象の道に進むべきか、教員の道に進むべきか迷っていて、両方を学んでおけば将来どちらの道に進みたくなつても安心だと考えたのです。しかし、いざ入学すると教育より気象研究の面白さにどんどん引きこまれていきました。

卒業後は「日本気象協会」に就職しましたが、気象の仕事に実際に就いてみて、大学時代に教育を学んだのは無駄ではなかったことに気づきました。キャスターも教員も、ものごとを分かりやすく伝える仕事という部分では共通しているし、結論を述べた後に細かい部分を説明していくという授業の進め方を、放送台本の構成に応用することもできました。

春日部に住み始めたのは、都心にも近く、自然環境にも恵まれている点に魅力を感じたからです。近隣の自然スポットの中でも一番のお気に入り古利根川。体力作りのために毎日土手を走っていますが、桜が咲く春と、澄んだ空気の向こうに富士山が望める冬の風景が特に気に入っています。

また、人とのふれあいが楽しめるのも川辺ならではの魅力です。開放的な風景の中に身をおくと、人はおらかな気分になつて誰かとおしゃべりしたくなつてくる。「今日は天気がいいですね」という何気ない一言から会話が弾んだり、初めて会った人から「いつもテレビで見えますよ」と優しく声をかけられたり……。おだやかに流れる古利根川は、そこに集まる人々の心もおだやかにしてくれるようです。

春日部は本当にいいところですよ!